

# 長野県は宇宙県



主催  
長野県は宇宙県」連絡協議会

『長野県は宇宙県』  
サマー・スタンプラリー2017  
キックオフイベント in 上田創造館

基調講演

「ようこそ信州の星空へ」

国立天文台 天文情報センター 縣秀彦氏

トークショー

「今、信州の夜空が面白い」

出演：「長野県は宇宙県」のみなさんほか

7月22日（土）17:00～（開場16:30）

星空観望会（イベント終了後）

会場：1F 文化ホール

定員 440名（先着順）

4F プラネタリウム室

屋上 天体観測室

19:00～21:30

入場無料

長野県は宇宙県

7月22日（土）  
上田創造館で  
まっけてね！  
きてね！



ぼく、ほしくま。  
長野の森に住んでるよ。

長野県で、宇宙と遊ぶ夏休み。



●問い合わせ

長野県は宇宙県連絡協議会（国立天文台野辺山宇宙電波観測所内）

担当：衣笠 TEL：0267-98-4300（観測所・代表）

キックオフイベント会場：上田創造館 TEL：0268-23-1111

© 2017 Tamayo Kawamura



## 特別無料御招待券

上田創造館 本券1枚で2名様有効  
デジタルプラネタリウム

\*投映時間・番組は当館HPにて   ご確認ください。

\*当日、お越しの際は本券を4Fプラネタリウム室 受付にご提出ください。  
(ご持参されない場合は、ご入場をお断りする場合がございます)

上田地域広域連合(上田創造館)  
長野県上田市上田原1640 TEL 0268-23-1111

No. N-001



有効期限 2017.12.24



No. N-001

有効期限 2017.12.24

## 特別無料御招待券

上田創造館  
デジタルプラネタリウム  
4F プラネタリウム室

上田地域広域連合(上田創造館)  
〒386-1102長野県上田市上田原1640  
Tel0268-23-1111 Fax0268-24-4100



# 長野県のプラネタリウム案内

長野県プラネタリウム連絡協議会

平成 26 年 10 月発行

# 長野県プラネタリウム連絡協議会

## 長野県プラネタリウム連絡協議会

長野県には、プラネタリウムを保有する施設が多くあり、平成元年に6館が集まり当協議会が発足しました。平成26年度では9館が加盟しており、プラネタリウム担当者が年2回集まって研修会を行い、連携を取り合いながら知識を深め、技術の向上を目指しています。

素晴らしい星の世界を見て感じることで、できるプラネタリウムへ、ぜひお出かけください。

### 長野市立博物館

TEL. 026-284-9011

<http://www.city.nagano.nagano.jp/museum/>

〒381-2212  
長野市小島田町八幡原史跡公園内  
■休館日：月曜日（祝日の場合はその翌日）、年末年始（12/29～1/3）

■投 影 日：土曜日・日曜日・祝休日  
■投影開始時刻：館にお問合せください。  
■プラネタリウム観覧料：一般250円、高校生120円、小中学生50円 ※20人以上の団体割引あり

### 大町エネルギー博物館

TEL. 0261-22-7770

<http://omachiemuse.web.fc2.com/>

〒398-0001  
大町市平 2112-38  
■休館日：水曜日、木曜日  
12月～3月は冬期休館

■投 影 日：土曜日・日曜日・祝休日  
■投影開始時刻：①10:30 ②14:30  
■プラネタリウム観覧料：大人400円、中学生300円、小学生200円 ※30人以上の団体割引あり ※プラネタリウムは博物館入館料+200円

### 松本市教育文化センター

TEL. 0263-32-7600

<http://www.city.matsumoto.nagano.jp/>

〒390-0221  
松本市里山2930-1  
■休館日：月曜日（祝日の場合はその翌日）、年末年始（12/29～1/3）

■投 映 日：土曜日・日曜日・祝休日  
■投影開始時刻：①11:00 ②13:30 ③15:00  
■プラネタリウム観覧料：大人（高校生以上）150円、小中学生無料 ※20人以上の団体割引あり

### 中野市立博物館

TEL. 0269-22-2005

<http://www.city.nakano.nagano.jp/city/hakubutukan/index.htm>

〒383-0046  
中野市大字片塩 1221  
■休館日：火曜日（祝日は開館）、年末年始（12/29～1/3）

■投 影 日：土曜日・日曜日・祝日  
■投影開始時刻：土曜日①11:20 ②13:10 ③14:30  
日曜日・祝日①10:00 ②11:20 ③13:10 ④14:30  
■プラネタリウム観覧料：大人400円、小中学生無料 ※20人以上の団体は2割引



### 上田創造館

TEL. 0268-23-1111

<http://www.area.ueda.nagano.jp/sozokan/>

〒386-1102  
上田市上田原 1640  
■休館日：年末年始（12/29～1/3）、保守点検、清掃日（不定期）

■投 映 日：土曜日・日曜日・祝休日  
■投影開始時刻：土曜日①13:30 ②15:00  
日曜日・祝休日①11:00 ②13:30 ③15:00  
■プラネタリウム観覧料：一般260円、高校・大学生210円、小・中学生110円 ※20人以上の団体割引あり

### 佐久市子ども未来館

TEL. 0267-67-2001

<http://kodomomiraikan.jp>

〒385-0022  
佐久市岩村田 1931-1  
■休館日：木曜日、年末年始（12/29～1/1）

■投 映 日：休館日を除く毎日  
■投影開始時刻：平日①11:30 ②15:30  
土・日・祝日①11:30 ②14:00 ③15:30  
■プラネタリウム観覧料：大人700円、子ども（4歳～中学生）350円 ※20人以上の団体は2割引 ※展示室とのセット料金もあり

### 八ヶ岳自然文化園

TEL. 0266-74-2681

<http://yatsugatake-ncp.com>

〒391-0115  
諏訪郡原村 17217-1613  
■休館日：火曜日、祝日の翌日、年末年始 ※夏季は無休

■投 影 日：休館日を除く毎日  
■投影開始時刻：①9:15 ②10:15 ③11:15 ④12:15  
⑤13:15 ⑥14:15 ⑦15:15 ⑧16:15  
■プラネタリウム観覧料：大人800円、小中学生500円 ※30人以上の団体割引あり

### 飯田市美術博物館

TEL. 0265-22-8118

<http://www.iida-museum.org/>

〒395-0034  
飯田市追手町2丁目655-7  
■休館日：月曜日（祝日の場合は開館）、祝日の翌日、年末年始

■投 影 日：休館日を除く毎日  
■投影開始時刻：平日①14:30 ②16:00  
土・日・祝日/夏・冬・春休み①10:00 ②11:30 ③13:00 ④14:30 ⑤16:00  
■プラネタリウム観覧料：大人250円、高校生150円、小中学生50円 ※20人以上の団体割引あり

### 長野県伊那文化会館

TEL. 0265-73-8822

<http://www.inabun.or.jp/>

〒396-0026  
伊那市西町 5776 春日公園内  
■休館日：月曜日（祝日の場合は開館、翌日休館）、年末年始（12/29～1/3）、保守点検日（不定期）

■投 映 日：土曜日・日曜日・祝休日  
春と夏の2回、期間限定で平日放映あり  
■投影開始時刻：①10:30 ②13:30 ③15:00  
■プラネタリウム観覧料：一般（高校生以上）240円、小中学生100円 ※10人以上の団体割引あり



※ここに掲載している情報は、都合により変更する場合があります。ご了承ください。

5月18日

5月18日

一つご提案があります。

7月22日は全体のオープニングイベントに位置付けて  
記者会見を開いてはと思っています。

.....

また、観望会か講演会のようなキックオフイベントに加え  
させていただけないでしょうか。

---

国立天文台 天文情報センター  
普及室長＋国際普及室(OAO)室長  
縣 秀彦 (あがた ひでひこ) 先生より

---

# 2017「長野県は宇宙県」 サマー・スタンプラリー キックオフイベント

**基調講演:** 国立天文台 縣秀彦  
(国立天文台普及室長) 氏



# 2017「長野県は宇宙県」 サマー・スタンプラリー キックオフイベント



トークショー

出演者:

長野県は宇宙県連絡協議会、  
宙ツーリズム推進協議会、  
国立天文台縣秀彦(国立天文台普及室長)氏他、  
関係者

# 2017「長野県は宇宙県」 サマー・スタンプラリー キックオフイベント

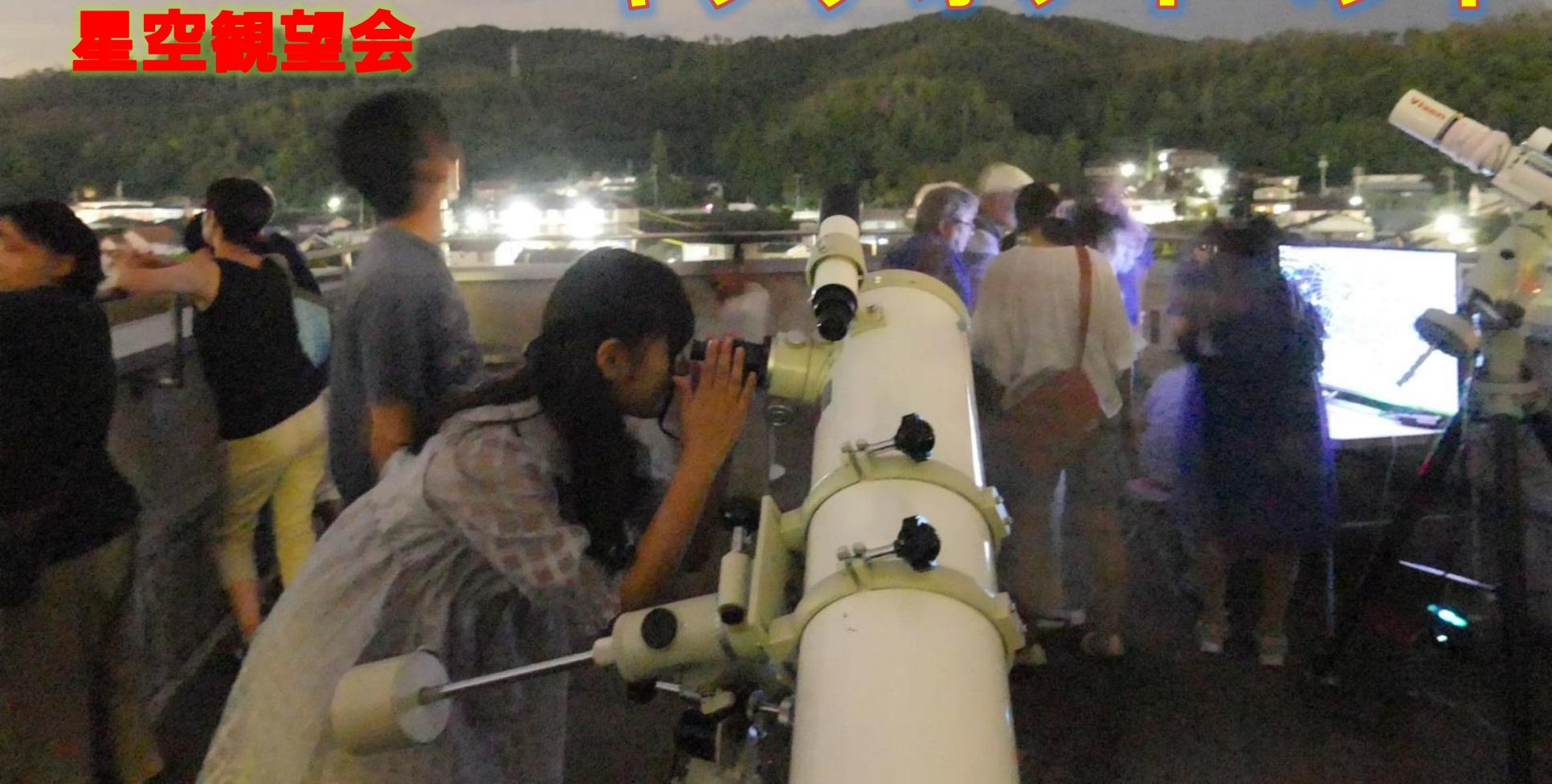


7月22日(土)

Summer Rocket  
桃宮くるみ

# 2017「長野県は宇宙県」 サマー・スタンプラリー キックオフイベント

星空観望会



# スタンプでポン! 宇宙県をめぐる

## “長野県は宇宙県”企画第1弾 サマー・スタンプラリー この夏はいつもの遠征に新スポットをプラス

レポート●原 智子  
撮影●松岡義一

流星観測や天体写真撮影で、長野県に行ったことのある読者は多いはず。でもこの夏は、今まで訪ねたことのない天文施設やイベントにも足を伸ばして、「長野県は宇宙県<sup>®</sup> サマー・スタンプラリー」の特製グッズを手してはいかが。

本誌7月号でクラウドファンディングによる募金を呼びかけたこの企画が、多方面からの協力を得て7月22日にスタートした。パトロン募集は5月18日から6月29日まで行われ、のべ159人から支援を受けた。目標額の270万円には及ばなかったが、寄付や協賛金や広告費などを合わせて総計のべ201件、230万8000円の資金を得ることができた。主催の連絡協議会は「宣伝用品など一部予定を縮小したものの、多くの個人や団体のご協力によりスタンプラリーが実現しました。支援者のみなさんに、心からお礼を申し上げます」と感謝を述べた。

ラリー用のスタンプとシートは、天文学関連の研究施設やプラネタリウム、星空探訪に適した宿泊施設など、29か所に設置されている。また、星まつりや天体観測会、施設公開や天文講演会など、イベント開催日のみ押せるスタンプも15個ある(天候によって中止あり)。8月31日までの期間中、異なる2個以上のスタンプを集めると、数に応じてオリジナルグッズがもらえる。

スタンプラリー開催初日の7月22日は、県下各地でキックオフイベントが開催された。そのうちのひとつ、上田市の上田創造館では、長野県大田市出身の縣秀彦さん(国立天文台)の基調講演「ようこそ信州の星空へ」や、パネラー5人によるトークショー「今、信州の夜空が面白い!」が行われ、活発な意見が交換された。夜は同館プラネタリウムで星空解説や、天体観測室・観望デッキで「夏の星空観望会」が開かれ、参加者たちは雲間からのぞく土星を楽しんだ。

縣さんは「大学時代に東京に出た際、いかに信州の星空がきれいかを実感した」と強調。スタンプ設置施設・イベントをひとつずつ紹介しながら「多くの人たちに信州の星空と関連施設を堪能してほしい」と呼びかけた。

近年、長野県をはじめ全国各地で、一般の人が気軽に星空を楽しむツーリズム(観光旅行)が増えている。今年11月には星空観光全国組織「宙ツーリズム」の設立も予定されている。連絡協議会も「このイベントは、星や宇宙を身近に感じてほしいという思いから始まりました」という。「県民のみならず、多くの人がこの夏に長野県を訪れ、星を楽しむ文化が広がることを願っています」と期待を寄せている。



キックオフイベントで、信州の星空の魅力と参加施設について紹介する縣秀彦さん。信濃大町観光大使もつとめている。



※「長野県は宇宙県」県内の天文関連施設・団体などが中心になり2016年から始まったプロジェクト(2017年2月号に詳細)。

■長野県は宇宙県 <http://www.nro.nao.ac.jp/~uchuken/html/>

ラリーマップと台紙を長野県内の天文関連施設やイベントで入手し、スタンプを押してもらおう。東京都三鷹市の天文・科学情報スペースでは、スタンプは押せないがグッズ交換ができる。



スタンプ2個で「長野県は宇宙県お楽しみシール」1枚、4個で「夜光るほしくまステッカー」1枚、8個で「ほしくまピンバッジ」1個、16個で「長野県版星座早見」1個と交換できる(同一のスタンプは無効)。スタンプ設置は8月31日まで、グッズ交換は指定施設(16か所)で9月15日まで。

2017  
ゆく年

## 天文普及

プラネタリウムや科学館のリニューアルがあいつぎ、  
星空と宇宙を楽しむイベント、地域おこしがブームに。  
本記事 星アト編集部



福岡市科学館

(画像提供: コニシニシタプラネタリウム)



上越清星星のふるさと館

新潟県上越市で海面に建てる「上越清星星のふるさと館」のプラネタリウムが2017年7月にリニューアル。デジタル式最新機による演出となった。7月29・30日には、新しく導入されたアストロアーツのデジタル式投影システム「ステラドーム・プロ」をお披露目する記念イベントが開かれた。

## プラネタリウム



さいたま市宇宙劇場

大崎生涯学習センター (ハレットおおさき)



2017年4月1日には、さいたま市宇宙劇場(埼玉県)が、続いて4月29日には大崎生涯学習センター(ハレットおおさき)がリニューアルオープンを迎えた。最新の光学式プラネタリウム「アイロン座」と全天周デジタル投影システム「バーチャルU」の融合による新しい映像表現がポイント。(画像提供: 五藤光学研究所)

2016年末から2017年にかけても科学館のリニューアルがあいついだ。2016年11月に「たかまつミライエ・こども未来館(香川県)」、2017年10月には「福岡市科学館(福岡県)」、どちらも以前の施設の建て替え更新に近い形での新設だった。2018年には唯一のプラネタリウム空白県だった高知県に、2018年末には東京都港区に新しいプラネタリウム施設がオープンするという情報もある。

投影機器的更新も各地で行われており、全天周ドームへのデジタル化も一層進む傾向にある。2017年4月には「さいたま市宇宙劇場(埼玉県)」「大崎生涯学習センター (ハレットおおさき)(宮城県)」が、五藤光学研究所のケイロンIIIハイブリッドを導入、夏には「上越清星星のふるさと館(新潟県)」がアストロアーツのステラドーム・プロを導入してリニューアルオープンとなった。プラネタリウム機器更新を機に過去のコンテンツを再投影したり、投影機の解体ショーを行ったところや、プラネタリウム黎明期の投影機を複数展示した明石市立天文科学館の「日本のプラネタリウムはじまりの歩」など、既存のものを活かすイベントを企画した施設も多かった。

天文台施設としては、九州最大となる口径100cm望遠鏡を新たに設置しリニューアルした「星の文化館(福岡県)」がある。同館では一人泊用のカプセルタイプも新設し、一人で気軽に活用できるようになった。新しただけでなく、利用しやすさについても今後各地で更新が進んでほしい。

近年、星空を「資源」としてとらえて地域おこしに活用する動きが活発になってきているが、2017年には県の規模で「星取県(鳥取県)」と長野県は宇宙県」の2つがあいついで立ち上げられた。星見スポットを教えてくれるアプリの開発や、

## 宇宙カルチャー推進協会

2017年1月、日本初の宇宙カルチャーに特化した「一般社団法人 宇宙カルチャー推進協会」が誕生した。宇宙を文化として生活に根付かせることを目的に設立された推進団体だ。その記念イベント「宇宙カルチャーパーティ」が、3月1日に行われた。



フォトコンテストの実施、天文施設をまわるスタンラリーといった参加型のイベントを中心にPRにつとめている。

星間や惑天時でも楽しめる複合型の星まつりや、星座や銀河をあしらった手作アクセサリーを即売するおしゃれなフェスが人気。しかも一回限りではなく定例になってきているのも心強い。また、さまざまな分野と宇宙をリンクさせていく「宇宙カルチャー推進協会」の発足や、「お笑い」という要素から星空に通る「星のお兄さん」の147都道府県ツアー達成、クラブツーリズムとビゼンが展開する「大人の宙タビ」シリーズなど、これからのキーワードは「既存のものを組み合わせる天文普及活動」といえるかもしれない。

さて、こうした地域おこしや星空イベントを推進していくうえで大きな指標となっているのが、環境省が進めてきた「全国星空継続観測」だ。環境省は2017年から新たに「星空観察の推進手法に関する検討会」を開き、近年急速に普及したLED照明への対応やデジタル機器を用いた空の暗さの決め方などの指針をとりまとめ、今後の天文普及と事業への活用を期待が高まる。

SNSの拡大で多くの人が天文情報に触れるようになった一方、例えば「ストロベリームーン」という言葉だけが独り歩きしたり、誤った情報やフェイクニュース的なものが拡散されてしまうことも。正確な情報へのアクセス方法は確立されているが、知識や興味を深めるためのシステム構築は確かならないうえ、これからの天文普及の課題となっている。

## 長野県は宇宙県

2016年11月に「長野県は宇宙県」を合い言葉に、四県がもつ「宇宙に会い」というおぼろしい言葉を多くの人が広げ、その魅力を広く伝えることで地域振興・人材育成・観光・天体観測環境等に貢献しようという活動が始まった。推進する施設・団体・個人でつくる連絡協議会は2017年7月22日～8月31日、県内各地の天文台やプラネタリウムなどの施設やイベントをめぐり「長野県は宇宙県」サマースタンプラリーイベントを開催。地域の天文愛好者が積極的参加を促して連携する動きもあじわってきた。

## 地域活性化

## 「大人の宙タビ」シリーズ

流星群の夜に、星を観望する日曜日のバスツアーなど、県内で気軽に星空を楽しむ新企画が各方面で実施されている。「大人の宙タビ」は、クラブツーリズムとビゼンがコラボして、「星空」で地域の魅力を発信していくプロジェクト。



小海線 HIGH RAIL 1375



小海線 HIGH RAIL 1375

「天宮にいちばん近い列車」をコンセプトに、2017年7月、星空列車の観光列車「HIGH RAIL 1375 (ハイレール・チンパンゴ)」がデビュー。「1375」は、小海線の清里駅～野辺山駅間である、沿線最高地点の標高、2再降成で合計50車、1号車はシングルシート、ベアシート、ボックスシート、物置カウンターを備え、2号車にはクリアリングシートと投影スペースがある。キハ11(2-7)とキハ103(7-11)による2両編成でヘッドマークにも星空が描かれている。

## 星と旅



星のゆく年来る年 2017 ゆく年 天文普及



## 環境省 星空観察の推進手法に関する検討会



光害防止

1998年の1998年、環境省(当時)が「光害対策ガイドライン」を策定。8年後の2006年には環境省・大気環境局がその改訂版を公表し、光害に対する自治体や市民の意識向上を促した。改訂版の公表から10年以上が経過し、特にここ数年はLED照明の急速な普及によって、屋外照明の増加が懸念しつつある。このタイミングで環境省・大気環境局は、「星空観察の推進手法に関する検討会」を立ち上げ新たな取り組みを導いた。



素敵な冬の星空を

大きな望遠鏡でみませんか

参加無料

# 冬の星空観望会

次回 上田創造館 4階屋上天体観測室

2月24日(土)18:30~21:30

素敵な星空を  
大きな望遠鏡で見ませんか

# 星空観望会

上田創造館 4階屋上天体観  
測室 参加無料

**3月**

音楽と星空のコラボレーション企画

# 冬の星空生解説

久保博樹氏：キーボード生演奏付き

次回 **3月24日(土)**

**10:00~11:00**